

## 妙高市教育研究会社会科部の取組について

本年度、妙高市教育研究会では、妙高市教育委員会の要請を受け、社会科副読本（3，4年生向け）の作成を行っている。3月の発行に向け、現在校正作業の段階である。この副読本作成にあたり、まず基本方針を作成した。以下、紹介する。

### 1 ねらい

- (1) 妙高市に住む子供たちが、ふるさとのよさ（自然、歴史、文化、人々）を知ることができる、「学べる」副読本
- (2) 妙高市に初めて勤める教員、社会科指導が苦手な教員など、3，4年生を担当する教員の「力量」によって、教えられる子供たちに差が出ない、「使える」副読本

### 2 ねらい達成のために

#### (1)「学べる」副読本 ～ふるさとのよさを知る～

- ① 妙高に住む人々が、自然環境を生かしながら、願いの実現のために工夫や努力、協力しながら、暮らしを営んでいることが分かる副読本
- ② その結果として、生活が維持・向上し、妙高市として特色ある発展を遂げていることが理解できる副読本。
- ③ 自分たちも、妙高に暮らす一員として願いを実現していくために工夫や努力、協力していこうとする自覚や、妙高に対する誇り、愛情が育つ副読本。
- ④ 妙高を具体的に調べ、考え、まとめる活動を通して、社会科の調べ方、学び方が分かり、社会科の基礎・基本が身に付く副読本。

#### (2)「使える」副読本 ～どの教員も副読本を生かして妙高の授業ができる～

- ① ねらい達成のために、それぞれの地域（高原、妙高、新井）における価値ある地域素材が教材化されている。
- ② 絵や写真、グラフなどの資料が豊富に用意され、その資料の意味付けや解釈がなされている。
- ③ 新学習指導要領のねらいに基づき、「教科書」に準拠しながら、並行して学習を進めることができる。
- ④ 指導と評価の一体化が図られるよう、作業ページや記述欄を設ける。「資料集」と「学習ノート」

### 3 新学習指導要領における社会科改善の基本方針達成のために

#### (1) 基礎的・基本的知識や技能の習得

- ・妙高を学ぶことで、これだけは必ず身に付けさせるという内容を盛り込む。

#### (2) 思考力・判断力・表現力の育成

- ・妙高を単に知る、分かるだけでなく、事象の背景を考え、自分なりの考えをもたせる。

#### (3) 学習意欲を高める工夫

- ・妙高に暮らす人々の生きざまを学ぶことで、知的好奇心を喚起し、学習意欲を高める。

#### (4) 発展的な学習に対応する

- ・妙高で学んだことを、他の地域や内容に発展させる。

(文責) 新井北小学校 岡田和則